

# 我がまちを守る！ 消防団～現状と課題～

赤羽消防団副団長 小澤浩子

## 1・災害列島・日本に暮らす私たち

- 1) 活火山数は世界の7・0%
- 2) マグニチュード6・0以上の地震数は20・7% (1996~2005)
- 3) 今後 30 年間に発生が予想される大地震の確率
  - ① 宮城県沖地震・・・99% M7・5
  - ② 三陸沖北部地震・・・90% M8・1
  - ③ 茨城県沖地震・・・90% M6・8
  - ④ 東海地震・・・87% M8
  - ⑤ 首都直下地震・・・70% M7・2
  - ⑥ 東南海地震・・・60% M8・1
  - ⑦ 南海地震・・・50% M8・4
- 4) 自然災害の多発
  - ① 豪雨
  - ② 突風
  - ③ 豪雪
  - ④ 火山の噴火など

## 2・消防団とは？

- \*特別職の非常勤地方公務員
- \*それぞれ生業を持ちながら
  - 「自らのまちは自らが守る」との、郷土愛語の精神で活動
- \*全国ほとんど全ての市町村に設置
- \*団員定数は市町村条例により、団員の任命権は市町村長が持つ
- \*出動手当・年報酬・退職報奨金有り
- \*組織は団本部を頂点とし、団員は団長以下7階級
- \*常備消防と自主防災組織の連携役として、地域防災の中核を担う存在

## 3・地域の防災体制

- 1) 常備消防・・・約 15 万 7 千人 (常備化率 97・8%)

- 2) 消防団・・・・・・・・・・約 88 万 7 千人
- 3) 婦人（女性）防火クラブ・・・・・・・・約 200 万人
- 4) 自主防災組織・・・・・・・・・・約 3 1 0 0 万人
- 5) 少年消防クラブ（消防少年団）・・・約 43 万人
- 6) （災害時支援ボランティア・・・・約 1 万 7 千人）

#### 4・消防団のルーツ

- 1) 江戸時代の「町火消し」の伝統を汲む・・長く続いた「男の世界」
- 2) 今年は、女性消防団員誕生 1 0 0 周年
- 3) 自治体消防の誕生
  - \* 昭和 22 年 4 月・・警防団の廃止
  - \* 昭和 2 3 年 3 月・・消防組織法の施行

#### 5・消防団の特性

- 1) 地域密着性
- 2) 要員動員力
- 3) 災害への即時対応力

#### 6・消防団への期待の拡大

- 1) 予想される大規模災害への対応
- 2) 多発する自然災害等、多様化・複雑化する災害への対応
- 3) 永遠の課題「火の用心」への対応
- 4) 予防・啓発活動の充実
  - \* 防げる災害は発生させない
  - \* 災害が発生しても被害を最小限に食い止める
- 5) 応急手当法の普及
- 6) 有事における国民保護への対応
- 7) 災害を風化させない ～教訓を次代へと語り継ぐ～
- 8) まちの伝統を担う ～さまざまな行事・イベントへの参加～
- 9) 未来を担う人材の育成
- 1 0) さまざまな組織や人との連携

## 7・消防団の課題と対策

- 1) 団員の減少・・・・・・・・・・新たな人材の確保
- 2) 団員の高齢化・・・・・・・・・・学生団員の募集  
少年消防クラブの活性化  
使いやすい資機材の開発
- 3) 団員のサラリーマン化・・活動スタイルの多様性⇒機能別団員・分団  
事業所の協力⇒協力事業所顕彰制度

## 8・消防団の現況（平成21年10月1日現在 日本消防協会）

- 1) 全国消防団数・・・・2312団
- 2) 団員総数・・・・88万8862人
- 3) 女性採用団・・・・1180団
- 4) 全国女性団員数・・1万8514人
- 5) 消防庁の目標・・・・全国団員数100万人・内女性10万人
- 6) 女性団員の誕生  
\*女性しかいないなら  
\*女性も一緒に  
\*全国大会開催や、大災害を契機に
- 7) 女性団員を採用できない理由
  - ① 長く続いた「男の世界」
  - ② 女性への不安や勘違い  
\*設備や制服に費用がかかる  
\*風紀が乱れる  
\*士気が低下する  
\*災害現場で足手まといとなる  
\*女性にどう接してよいかわからない
  - ③ 婦人（女性）防火クラブの目覚ましい活動
- 8) 女性団員の活動スタイル
  - ① 災害現場に・・・・出動する  
出動しない
  - ② 予防啓発活動に特化  
基本的には男性と同じ活動
  - ③ 配属・・・・・・・・女性のみ分団や隊を結成し団本部に所属  
団本部と居住分団に配属

## 9) 女性団員の特徴的な活動

- ① 独居老人宅の防火訪問
- ② 寸劇等による啓発活動
- ③ 大型紙芝居・人形劇等による幼児への啓発活動
- ④ ラジオ番組の制作
- ⑤ 応急手当の指導
- ⑥ バイク隊への参加
- ⑦ はしご乗りへの挑戦など

## 9・消防団の人材育成

### 1) 消防団員の育成

- ① 団体ごとに行う研修・訓練・操法大会など
- ② 県内支部単位の研修・交流
- ③ 県単位の操法大会や研修会・団員意見発表会など
- ④ 日本消防協会が実施する研修
  - \* 出前講座
  - \* 中央幹部研修（団長・副団長対象）
  - \* 幹部候補団員研修
  - \* 女性幹部候補団員研修
  - \* 全国消防団員操法大会
  - \* 女性団員活性化全国大会 など
- ⑤ 消防庁による研修
  - \* 消防団員確保アドバイザー派遣制度
  - \* 全国消防団員意見発表会など

### 2) 地域の人材育成

- \* 地域住民への防災指導
- \* 応急救護法の指導・普及
- \* 幼児への防火啓発
- \* 小中学生への防火指導
- \* 少年消防クラブの指導
- \* 婦人（女性）防火クラブや自主防災組織への指導

**まちと共に育ち**

**未来を担う人材も育てる**

**コミュニティの中核としての消防団！を目指して・・・**

平成22年9月17日

消 防 庁

## 平成22年4月1日現在の消防団員数（速報値）

平成22年4月1日現在の消防団員数（速報値）について、取りまとめましたので、公表します。

概要は、次のとおりです（詳細は別紙をご覧ください）。

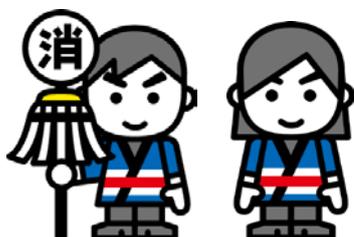
- 全国の消防団員数は、883,710人（前年度より1,684人減少）。

消防団員数は年々減少しているが、平成17年をピークに対前年減少人数は年々小さくなっていることから、消防団員確保のための取組の成果が見られる。

- 消防団員に占める被雇用者の割合は、70.7%（前年度70.1%）と高くなってきている。

- 女性消防団員数は、19,103人（前年度より1,224人増加）で、消防団員総数が減少する中でも、年々増加している。

- 学生（専門学校生を含む）の消防団員数は、1,821人（前年度より306人増加）。



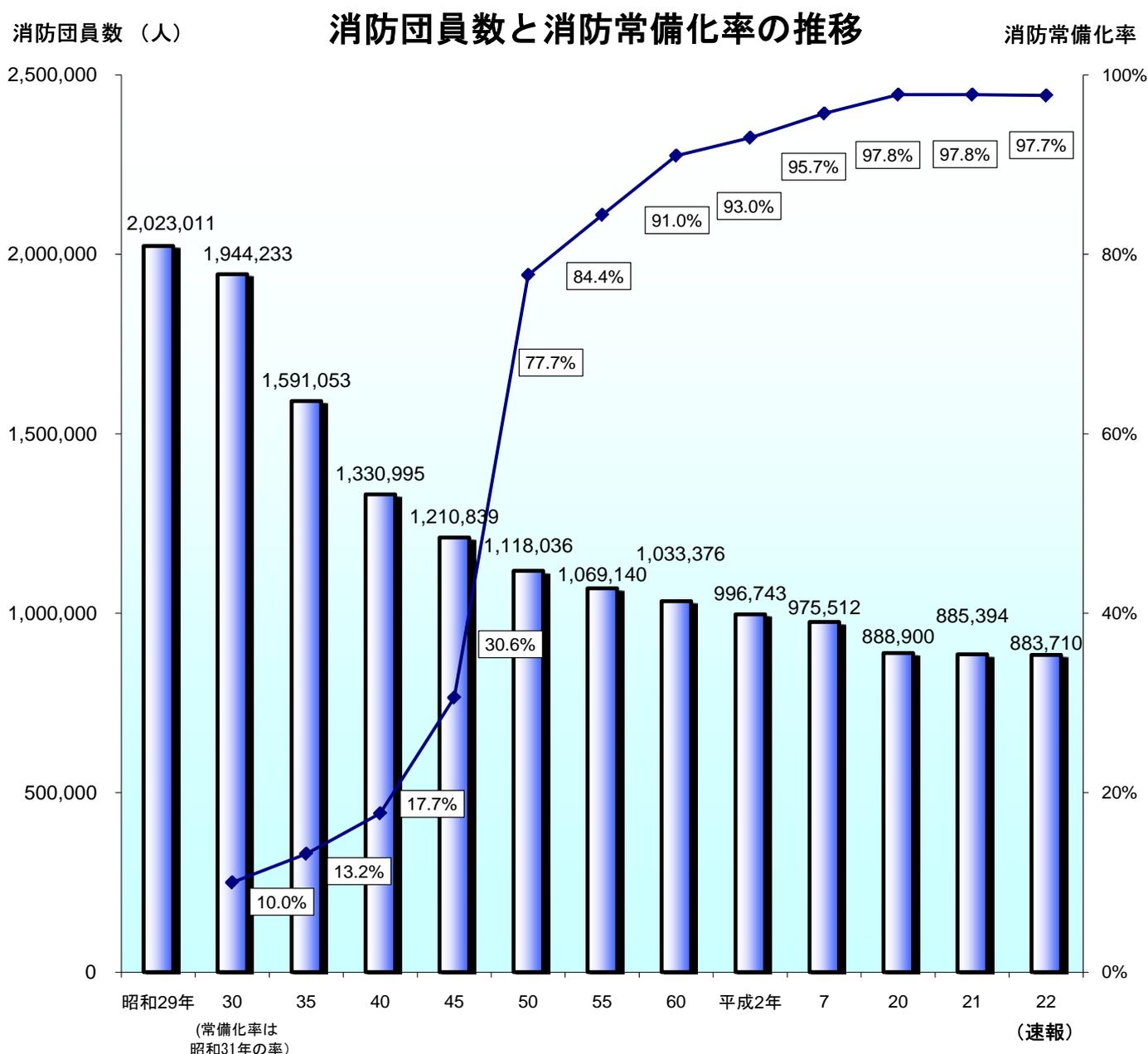
（連絡先）消防庁国民保護・防災部防災課  
担 当：荒山課長補佐、常木消防団係長  
電 話：03-5253-7525（直通）  
ファクシミリ：03-5253-7535  
電子メール：syobodan@ml.soumu.go.jp

# 平成 22 年 4 月 1 日現在の消防団員数について<速報値>

<防災課消防団係>

## 1 消防団・消防団員の現況

- ① 消防 団 数：2,275 団（全国ほとんどの市町村に設置）
- ② 消防 分 団 数：22,772 分団
- ③ 消防 団 員 数：883,710 人（前年度より 1,684 人減少）



2 団員確保に積極的に取り組んだ結果、消防団員が前年度よりも増加した市町村数は611であり、その増加団員数は5,212人であった。一方、消防団員が前年度よりも減少した市町村数は805であり、その減少団員数は6,896人であった。

また、消防団員数が前年度と変わらなかった市町村数は312であった。

3 平成17年をピークに、対前年減少人数は年々小さくなっている。

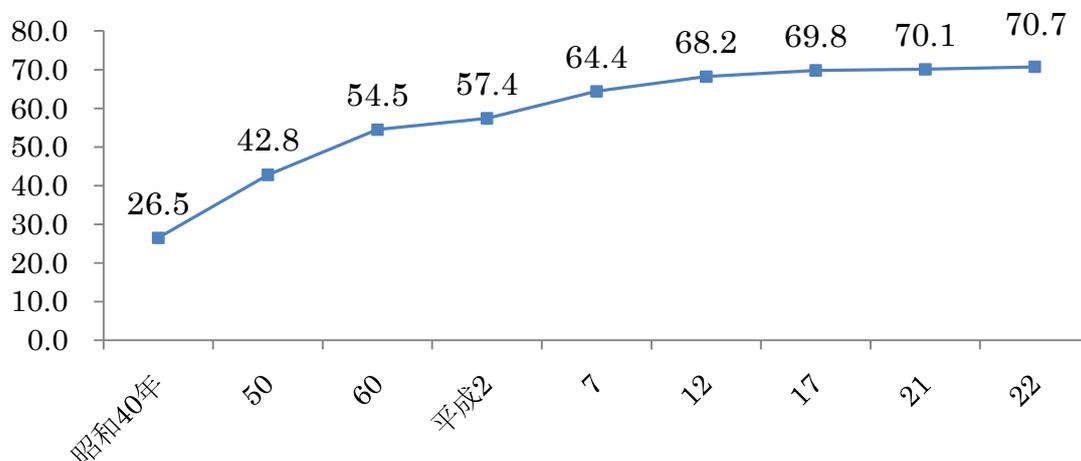
消防団員数は年々減少しており、5年前の平成17年に比べ24,333人減少しているが、平成17年をピークに、対前年減少人数は年々小さくなっていることから、消防団員確保のための取組の成果が見られる。

消防団員の対前年減少人数の推移



4 就業構造の変化により消防団員に占める被雇用者の割合が高くなってきており、被雇用者団員比率は70.7%となった。

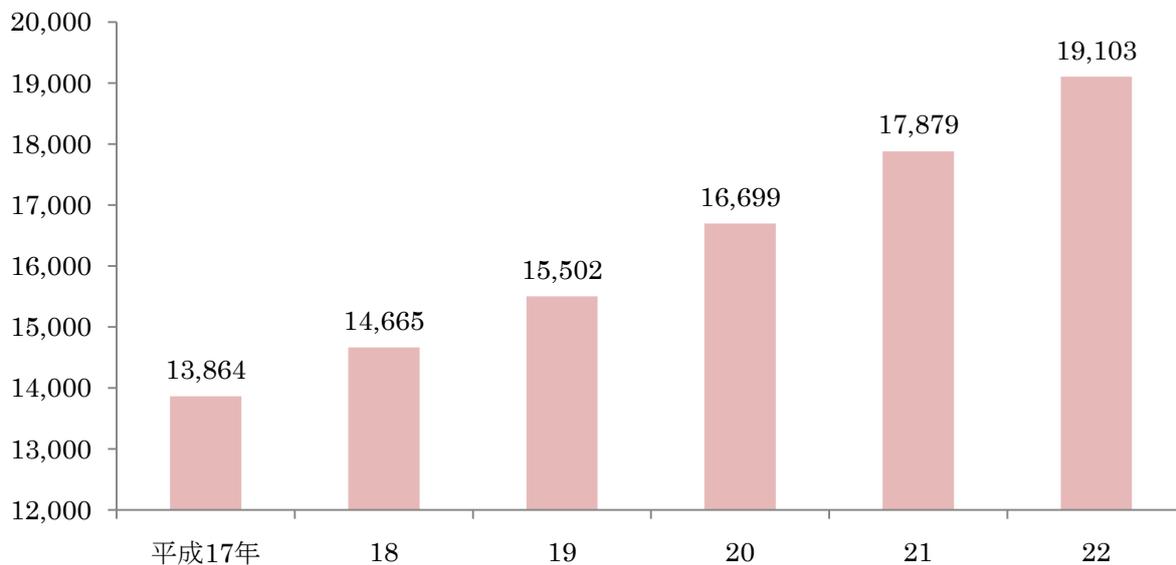
被雇用者団員比率の推移



5 女性消防団員数は 19,103 人で全体の 2.2%であり、前年度より 1,224 人増加した。

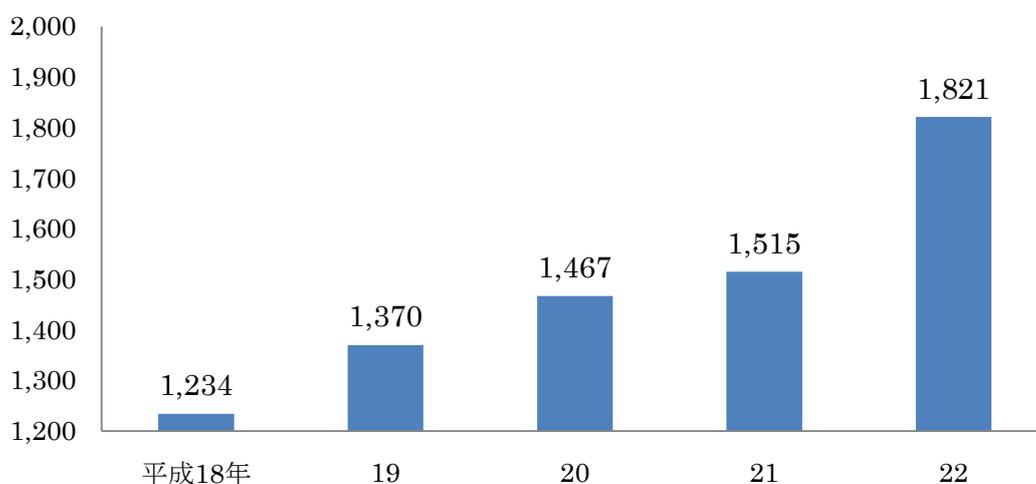
消防団員総数が減少する中でも、女性消防団員数は年々増加しており、5 年前の平成 17 年に比べ、5,239 人増加した。

### 女性消防団員数の推移



6 学生（専門学校生を含む）の消防団員数は 1,821 人であり、前年度より 306 人増加した。

### 学生団員数の推移



# 都道府県別消防団員数

(単位:人)

都道府県名	平成22年4月1日現在速報値			平成21年4月1日現在確定値			増減		
	定数	実数	うち女性	定数	実数	うち女性	定数	実数	うち女性
1 北海道	28,924	26,243	1,927	28,966	26,359	1,816	▲ 42	▲ 116	111
2 青森	21,694	19,956	398	21,746	19,932	376	▲ 52	24	22
3 岩手	26,637	23,419	394	26,660	23,277	385	▲ 23	142	9
4 宮城	24,053	21,678	444	24,153	21,684	426	▲ 100	▲ 6	18
5 秋田	20,166	18,029	176	20,200	18,052	150	▲ 34	▲ 23	26
6 山形	27,407	26,088	309	27,427	26,247	299	▲ 20	▲ 159	10
7 福島	37,180	35,333	170	37,274	35,437	159	▲ 94	▲ 104	11
8 茨城	26,465	24,541	460	26,605	24,495	313	▲ 140	46	147
9 栃木	15,896	15,090	104	15,926	15,088	101	▲ 30	2	3
10 群馬	12,857	12,021	59	12,882	12,126	48	▲ 25	▲ 105	11
11 埼玉	15,524	14,271	390	15,512	14,307	337	12	▲ 36	53
12 千葉	29,167	27,351	426	29,254	27,433	429	▲ 87	▲ 82	▲ 3
13 東京	26,484	24,597	2,410	26,478	24,408	2,246	6	189	164
14 神奈川	20,120	18,497	1,012	20,091	18,688	954	29	▲ 191	58
15 新潟	41,369	39,365	525	42,078	39,558	514	▲ 709	▲ 193	11
16 富山	10,140	9,712	397	10,140	9,703	351	0	9	46
17 石川	5,725	5,317	132	5,725	5,286	122	0	31	10
18 福井	5,805	5,560	122	5,805	5,481	109	0	79	13
19 山梨	16,647	15,547	32	16,719	15,679	36	▲ 72	▲ 132	▲ 4
20 長野	38,182	36,542	850	38,489	36,776	811	▲ 307	▲ 234	39
21 岐阜	22,436	21,143	344	22,483	21,234	281	▲ 47	▲ 91	63
22 静岡	22,519	21,138	250	22,558	21,185	234	▲ 39	▲ 47	16
23 愛知	25,523	24,017	458	25,774	24,211	433	▲ 251	▲ 194	25
24 三重	14,613	13,848	351	14,547	13,760	339	66	88	12
25 滋賀	9,760	9,393	182	9,788	9,376	183	▲ 28	17	▲ 1
26 京都	19,955	18,283	516	19,990	18,457	484	▲ 35	▲ 174	32
27 大阪	11,020	10,544	183	10,958	10,462	178	62	82	5
28 兵庫	47,010	45,026	318	47,384	45,421	302	▲ 374	▲ 395	16
29 奈良	9,296	8,826	221	9,332	8,949	225	▲ 36	▲ 123	▲ 4
30 和歌山	12,582	12,001	171	12,639	12,049	169	▲ 57	▲ 48	2
31 鳥取	5,451	5,194	133	5,434	5,170	117	17	24	16
32 島根	13,628	12,726	272	13,648	12,747	245	▲ 20	▲ 21	27
33 岡山	30,424	29,178	423	30,522	29,099	367	▲ 98	79	56
34 広島	23,807	22,504	411	23,807	22,492	399	0	12	12
35 山口	14,837	13,638	384	14,872	13,743	386	▲ 35	▲ 105	▲ 2
36 徳島	11,797	11,025	130	11,792	10,935	117	5	90	13
37 香川	8,088	7,669	70	8,110	7,697	65	▲ 22	▲ 28	5
38 愛媛	22,100	20,909	569	22,183	20,932	539	▲ 83	▲ 23	30
39 高知	8,828	8,165	234	8,828	8,169	219	0	▲ 4	15
40 福岡	26,862	25,387	744	26,962	25,465	762	▲ 100	▲ 78	▲ 18
41 佐賀	20,472	19,678	400	20,512	19,791	387	▲ 40	▲ 113	13
42 長崎	22,814	20,850	246	22,896	20,931	229	▲ 82	▲ 81	17
43 熊本	37,097	35,078	576	37,178	34,967	527	▲ 81	111	49
44 大分	17,024	15,903	201	17,065	15,839	154	▲ 41	64	47
45 宮崎	16,173	15,205	288	16,093	15,128	286	80	77	2
46 鹿児島	16,548	15,599	189	16,520	15,550	176	28	49	13
47 沖縄	1,839	1,626	102	1,839	1,619	94	0	7	8
合計	942,945	883,710	19,103	945,844	885,394	17,879	▲ 2,899	▲ 1,684	1,224